

金沢大学附属病院のキャリア形成プログラム（例）

【注意事項】各診療科共通

- ・ 県外施設での診療や研修期間は義務年限に算入されません。従って、金沢大学附属病院での勤務期間は義務年限に算入されません。
- ・ 大学院に入学の場合、診療従事の状態により義務年限に算入するかどうかを決定します。

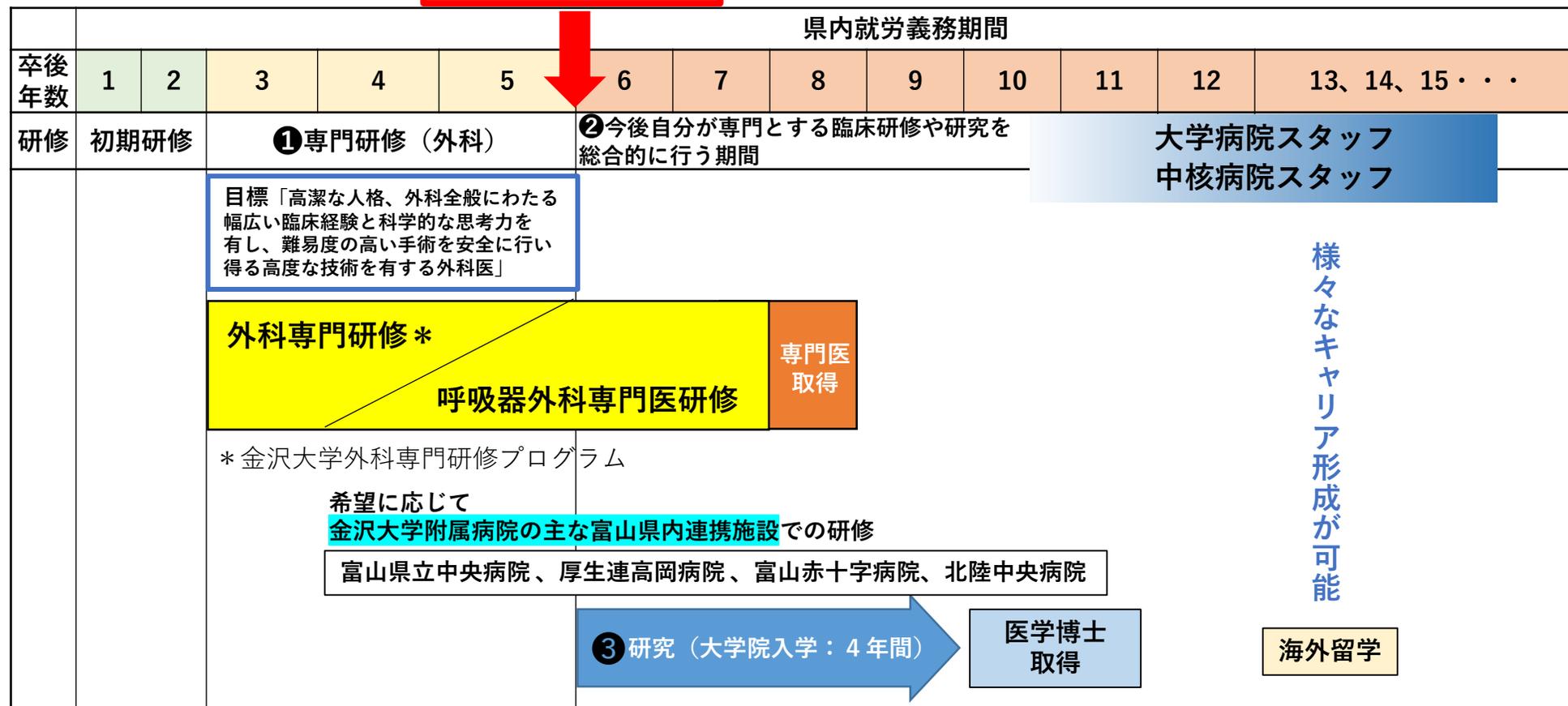
県内就労義務期間																									
卒後年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12、13、14・・・													
研修	初期研修		① 小児科専攻医研修			② 将来の目標に向かった臨床研修や研究を総合的に行う																			
			<p>到達目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの総合診療 育児・健康支援 子どもアドボカシー 医のプロフェッショナルリズム 学識研究 <p>に対応できるスキルを身につける</p>			<ul style="list-style-type: none"> 総合的な研修 サブスペシャリティ研修 <p>大学病院 中核病院 スタッフへ</p>																			
			<p>金大病院プログラム（主なコース）</p> <table border="1"> <tr> <td>金大病院</td> <td>関連病院A</td> <td>関連病院B</td> </tr> <tr> <td>関連病院A</td> <td>金大病院</td> <td>関連病院B</td> </tr> <tr> <td>関連病院A</td> <td>関連病院B</td> <td>金大病院</td> </tr> <tr> <td>金大病院</td> <td>関連病院A</td> <td>関連病院B</td> <td>連携病院</td> </tr> </table>			金大病院	関連病院A	関連病院B	関連病院A	金大病院	関連病院B	関連病院A	関連病院B	金大病院	金大病院	関連病院A	関連病院B	連携病院	<p>小児科専門医</p> <p>アレルギー専門医（小児科） 小児血液・がん専門医 小児循環器専門医 小児神経専門医 周産期専門医（新生児） 内分泌代謝科（小児科）専門医 腎臓専門医 リウマチ専門医 など （それぞれ3～5年間）</p> <p>各分野専門医</p> <p>様々なキャリア形成が可能</p>						
金大病院	関連病院A	関連病院B																							
関連病院A	金大病院	関連病院B																							
関連病院A	関連病院B	金大病院																							
金大病院	関連病院A	関連病院B	連携病院																						
						③ 研究（大学院：4年間）				医学博士取得		国内留学 海外留学													

- ① 3～5年目：金沢大学附属病院小児科専門研修プログラムに入り、富山県内の病院群で研修
- ② 6～9年目：附属病院や関連施設でサブスペシャリティの研修ならびに取得が可能
- ③ 大学院に入学して博士号の取得も可能（医師のキャリア形成には重要）

関連病院（A）：富山県立中央病院
 関連病院（B）：市立砺波総合病院
 連携病院：富山病院、南砺市民病院など（希望により）

< 返還免除時期の延長 >
 研究が主体の期間、県外や国外での研修期間、など

外科専門医取得



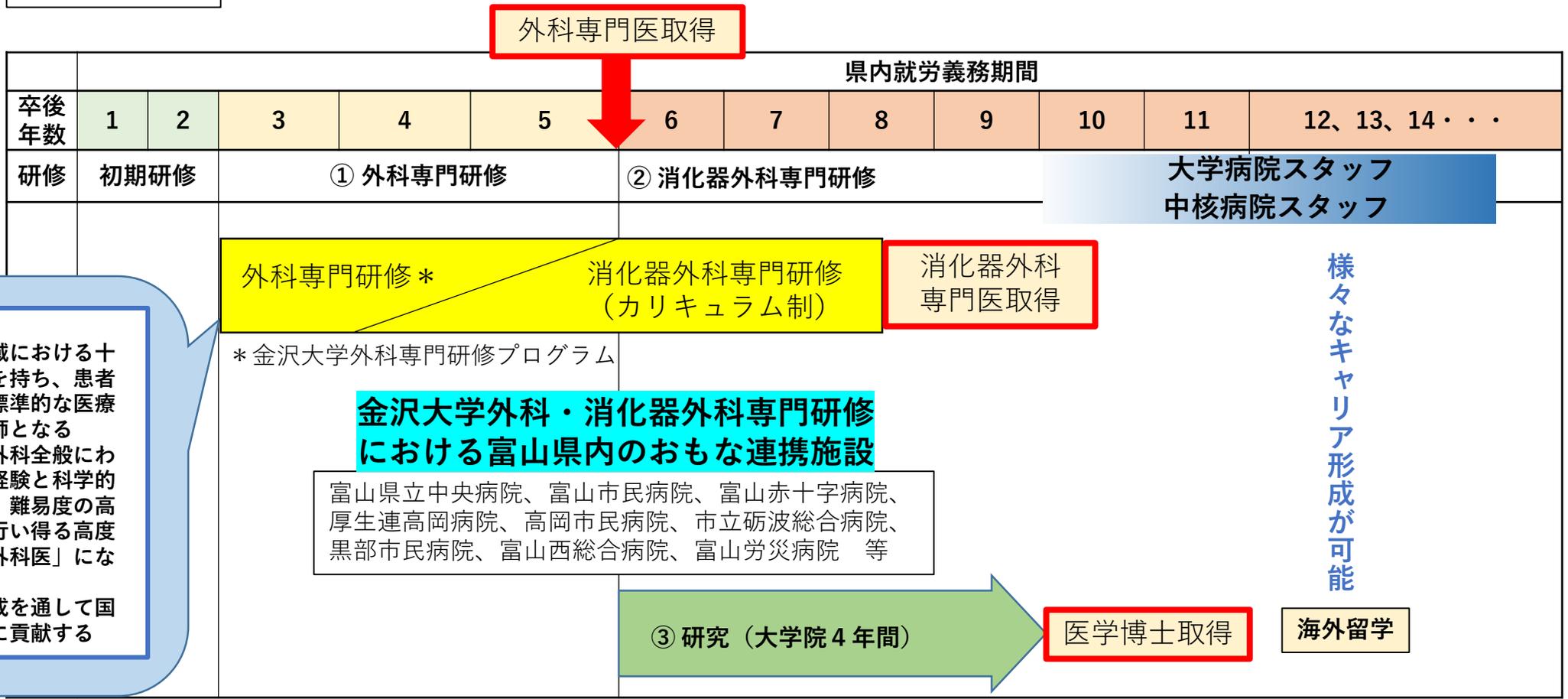
① 3～5年目は金沢大学外科専門研修プログラムにて、3年目は金沢大学病院、4-5年目以降は富山県内の病院群で研修。

富山県立中央病院、厚生連高岡病院、富山赤十字病院、北陸中央病院

② 6～8年目までの期間は、金沢大学附属病院や関連施設でサブスペシャリティ専門研修をして、呼吸器外科専門医の取得が可能。
県外施設での期間は返還免除時期が延期。

③ 大学院に入学し博士号の取得も可能（医師のキャリア形成には研究も重要）。

- ・ 大学院入学後、診療業務している年限は義務年限にカウント可能だが、研究が主の期間は返還免除時期が延期。
- ・ 研究のための国内留学も可能、県外施設での期間は返還免除時期が延期。海外留学は主に医学博士取得後。



目標

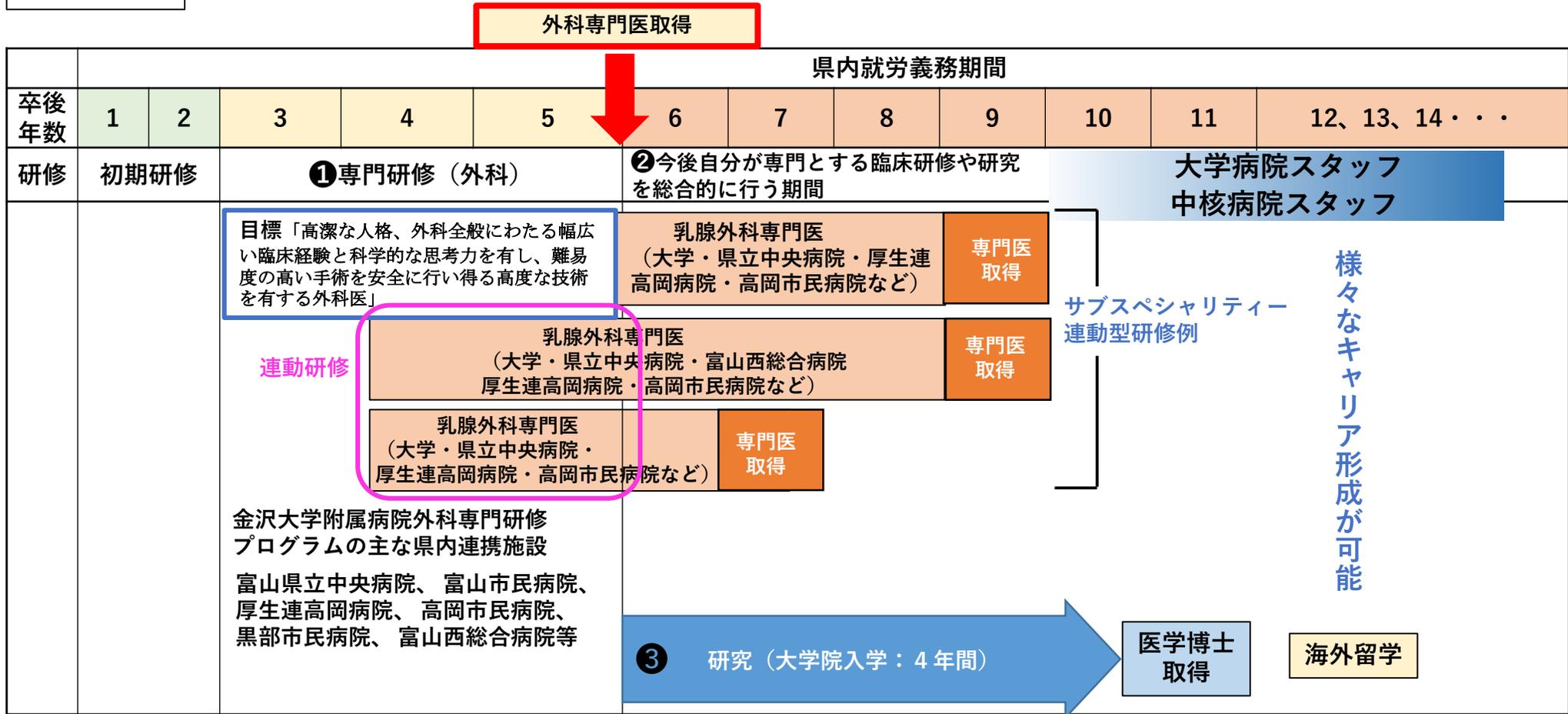
- 専攻医が外科領域における十分な知識・経験を持ち、患者から信頼される標準的な医療を提供できる医師となる
- 「高潔な人格、外科全般にわたる幅広い臨床経験と科学的な思考力を有し、難易度の高い手術を安全に行い得る高度な技術を有する外科医」になる
- 外科専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献する

金沢大学外科・消化器外科専門研修における富山県内のおもな連携施設

富山県立中央病院、富山市民病院、富山赤十字病院、厚生連高岡病院、高岡市民病院、市立砺波総合病院、黒部市民病院、富山西総合病院、富山労災病院 等

- ① 3～5年目は金沢大学外科専門研修プログラムにて、3年目は金沢大学病院、4,5年目以降は富山県内の病院群で研修
富山県内の主な連携施設は、富山県立中央病院、富山市民病院、富山赤十字病院、厚生連高岡病院、高岡市民病院、市立砺波総合病院、黒部市民病院、富山西総合病院、富山労災病院 など
- ② 6年目以降は、金沢大学附属病院や関連施設でサブスペシャリティ専門研修
8～10年目での消化器外科専門医の取得を目指す。
消化器外科専門医取得後は、内視鏡外科技術認定医、肝胆膵外科高度技能専門医、食道外科専門医等の高度なキャリア形成を目指した研修も可能。
- ③ 大学院に入学し博士号の取得も可能（医師のキャリア形成には研究も重要）
研究のための国内留学も可能、県外施設での期間は返還免除時期が延期。海外留学は主に医学博士取得後。

（県外施設での期間は返還免除時期が延期）



① 3～5年目は金沢大学附属病院の外科専門研修プログラムに入り、県内の病院群で研修

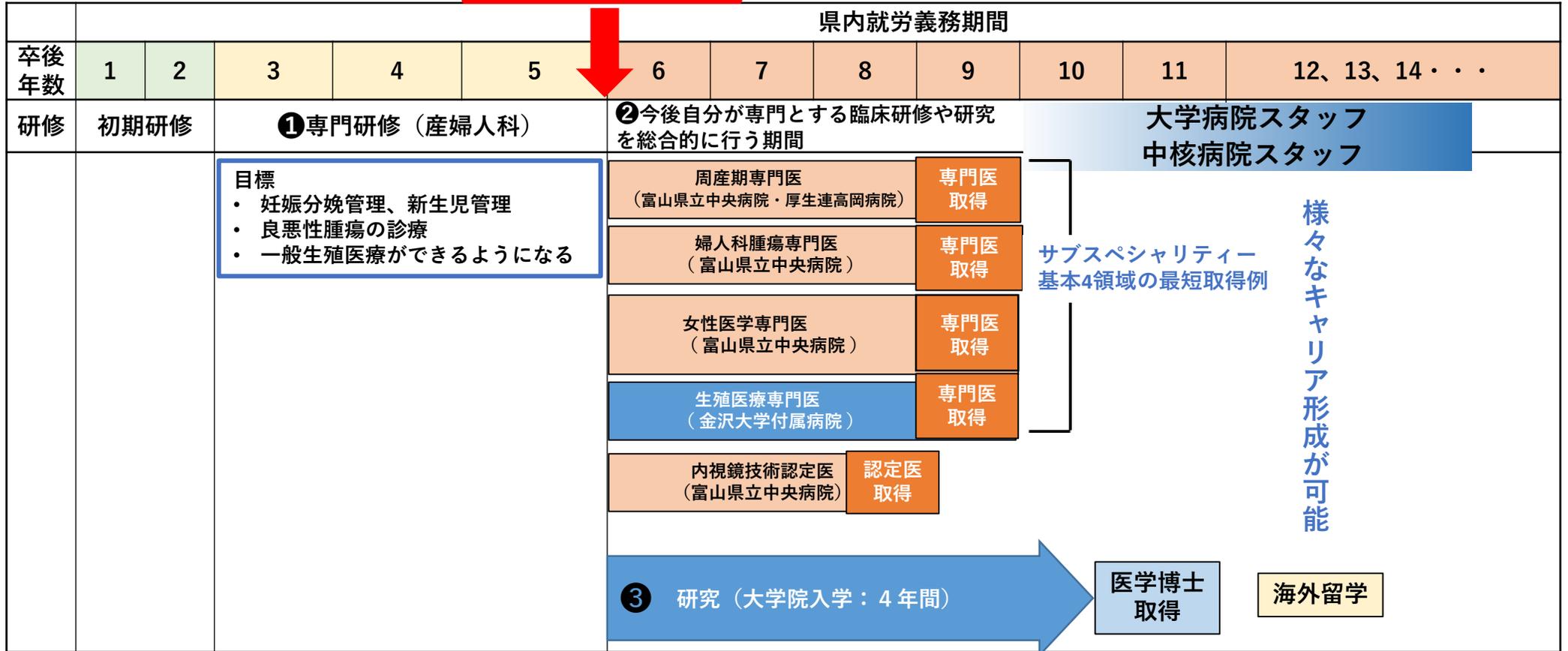
富山県立中央病院、富山市民病院、厚生連高岡病院、高岡市民病院、黒部市民病院、富山西総合病院

② 6～9年目までの期間は、金沢大学附属病院や関連施設でサブスペシャリティ専門研修をして、乳腺外科専門医の取得が可能。県外施設での期間は返還免除時期が延期。

③ 大学院に入学し博士号の取得も可能（医師のキャリア形成には研究も重要）

- ・ 大学院入学後、診療業務している年限は義務年限にカウント可能だが、研究が主の期間は返還免除時期が延期
- ・ 研究のための国内留学も可能、県外施設での期間は返還免除時期が延期。海外留学は主に医学博士取得後。

産科婦人科専門医取得



① 3～5年目は金沢大学付属病院の産婦人科専門研修プログラムに入り、県内の病院群で研修

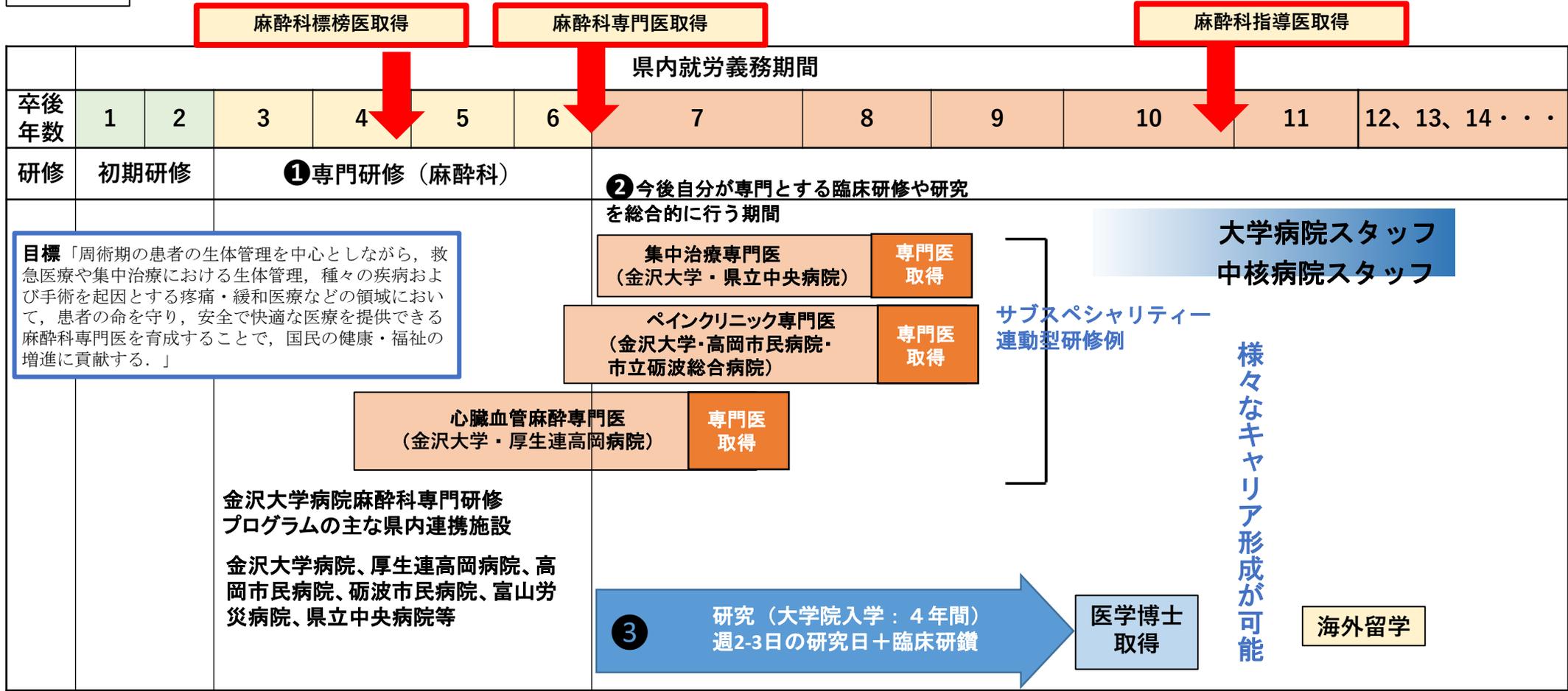
富山県立中央病院、済生会高岡病院、富山市民病院、厚生連高岡病院

② 6～9年目までの期間は、富山県立中央病院や関連施設でサブスペシャリティ専門研修をして、周産期専門医、婦人科腫瘍専門医、内視鏡技術認定医、女性医学専門医の取得が可能。県外施設での期間は返還免除時期が延期。

③ 大学院に入学し博士号の取得も可能（医師のキャリア形成には研究も重要）

- ・ 大学院入学後、診療業務している年限は義務年限にカウント可能だが、研究が主の期間は返還免除時期が延期
- ・ 研究のための国内留学も可能、県外施設での期間は返還免除時期が延期。海外留学は主に医学博士取得後。

キャリア形成プログラム（金沢大学）



- ① 3～6年目は金沢大学病院の麻酔科専門研修プログラムに入り、県内の病院群で研修
 厚生連高岡病院、高岡市民病院、市立砺波総合病院、富山労災病院、県立中央病院
- ② 7～10年目までの期間は、金沢大学附属病院や関連施設でサブスペシャリティ専門研修をして、麻酔科指導医の取得が可能。
 県外施設での期間は返還免除時期が延期。
- ③ 大学院に入学し博士号の取得も可能（医師のキャリア形成には研究も重要）
 - ・大学院入学後、診療業務している年限は義務年限にカウント可能だが、研究が主の期間は返還免除時期が延期
 - ・研究のための国内留学も可能、県外施設での期間は返還免除時期が延期。海外留学は主に医学博士取得後。

県内就労義務期間																																	
卒後年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12、13、14・・・																					
研修	初期研修		① 専門研修 (脳神経外科)				② 今後自分が専門とする臨床研修や研究を総合的に行う期間			大学病院スタッフ 中核病院スタッフ																							
			<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 脳神経外科領域の診断および管理 脳神経外科救急の初期治療 脳神経外科基本手技を修得する <p>主な研修コース (金沢大学)</p> <p>金沢大学専攻医研修プログラム</p> <table border="1"> <tr> <td>金沢大学</td> <td>連携施設①</td> <td>連携施設②</td> <td>金沢大学</td> <td>連携施設③</td> <td>連携施設④</td> <td>金沢大学</td> </tr> <tr> <td>金沢大学</td> <td colspan="2">連携施設①</td> <td>金沢大学</td> <td>連携施設②</td> <td>連携施設③</td> <td>金沢大学</td> </tr> <tr> <td>金沢大学</td> <td>連携施設①</td> <td>金沢大学</td> <td>連携施設②</td> <td>連携施設③</td> <td colspan="2">金沢大学</td> </tr> </table>				金沢大学	連携施設①	連携施設②	金沢大学	連携施設③	連携施設④	金沢大学	金沢大学	連携施設①		金沢大学	連携施設②	連携施設③	金沢大学	金沢大学	連携施設①	金沢大学	連携施設②	連携施設③	金沢大学		<p>サブスペシャリティの取得例</p> <ul style="list-style-type: none"> 脳卒中専門医 (金沢大学・富山市民病院・富山労災病院・厚生連高岡病院) がん治療認定医 (金沢大学) 脳血管内治療専門医 (金沢大学・富山市民病院・厚生連高岡病院) 脳卒中の外科技術認定医 (金沢大学、富山市民病院、厚生連高岡病院) 神経内視鏡技術認定医 (金沢大学) 			<p>様々なキャリア形成が可能</p>		
金沢大学	連携施設①	連携施設②	金沢大学	連携施設③	連携施設④	金沢大学																											
金沢大学	連携施設①		金沢大学	連携施設②	連携施設③	金沢大学																											
金沢大学	連携施設①	金沢大学	連携施設②	連携施設③	金沢大学																												
							<p>③ 研究 (大学院入学：4年間) 原則2年間は病棟フリー</p> <p>医学博士取得</p> <p>海外留学</p>																										

① 3～7年目は金沢大学附属病院の脳神経外科専門研修プログラムに入り、下記の連携施設群で専門研修
 金沢大学附属病院、富山市民病院、富山労災病院、厚生連高岡病院

県外施設での期間は返還免除時期が延期

② 8年目以降は、金沢大学や関連施設でサブスペシャリティ専門研修をして、脳卒中専門医、がん治療認定医、脳卒中の外科技術認定医、脳血管内治療専門医、小児神経学会認定医、神経内視鏡技術認定医、てんかん専門医、頭痛専門医、認知症専門医の取得が可能。

③ 大学院に入学し博士号の取得も可能 (医師のキャリア形成には研究も重要)

・大学院入学後、診療業務している年限は義務年限にカウント可能だが、研究が主の期間は返還免除時期が延期